

## 2015インターバイク・ラスベガス展 出展参加報告

本年も米国最大の自転車展示会であるインターバイク展が去る9月16日から18日にかけて米国ラスベガスで開催された。展示場は昨年同様マンダレイベイ・コンベンションセンターが使用された。展示会事務局によると、全体の展示面積は過去最高となった。また総来場者数は2014年に比べ僅かに減少したが、これは同時開催されていたヘルス・フィットネス機器の展示会の規模が縮小したためであり、来場小売店数は昨年比4%増加し、最終日の一般消費者来場者数は2014年同様を確保することができた、とのことである。

当協会は本年もこの展示会にまとまった小間を確保し共同出展企業を募集のうえ、共同出展を実施した。今年は9社の共同出展企業にお集まりいただく事ができ、これら各社の対米輸出促進支援を行った。当協会共同ブースは展示場中央の、しかも赤絨毯の敷かれたメイン通路に面した良い位置が割り当てられた。今後も共同出展を継続していきたいと考えているので、ご関心のある向きは遠慮なくお問合せいただきたい。

### 展示会の概要

展示会の名称：2015 インターバイク国際自転車展

(2015interbike INTERNATIONAL BICYCLE EXPO)

会 期：平成27年9月16日～18日(アウトドアデモと呼ばれる屋外新モデル試乗会が9月14日・15日に実施された)

会 場：米国ネバダ州ラスベガス市 マンダレイベイ・コンベンションセンター

主催者名：エメラルド・エキスポジョンズ

来場者数：昨年に比べ僅かに減少、来場小売店数は昨年比4%増。一般消費者来場者数は、980名強であった昨年とほぼ同じ

展示面積：約328,000平方フィート(約30,300㎡)で過去最高

尚この展示会はビジネスに特化した展示会であり、最終日に設定された顧客感謝日を除き一般消費者の入場は認められていない。またメディア登録をした人以外は会場内での写真の撮影も禁止されているほか、出展者は許可を得た場合を除き他の出展企業の小間に立ち入る事も認められていない。

### 1. 展示会の模様

9月16日～18日の3日間、マンダレイベイ・コンベンションセンター南館の1階でインターバイク展が開催された。来場者は会場奥の受付でバッジを受け取り、会場内へ入場する。会場は全体が扇形の形状をしており、A～Eのゾーンに分けられ、ゾーンBにトライアスロン、ゾーンCにマウンテンバイク及びBMX、ゾーンDにアーバン、ゾーンEに電動自転車の専用展示コーナーが配置されていた。これらのほか今年はゾーンEの奥に、サーキットと呼ばれる自転車試乗コースが設置されていた。

尚、昨年まで同時開催されていたヘルス・フィットネス機器の展示会は、規模を大幅に縮小しゾーンEの片隅にヘルス・フィットネスのコーナーが設けられるだけとなり、インターバイク展に完

全に飲み込まれる形となっていた。



展示会場入り口



受付の様様



会場入口に設置されたモニュメント

展示会への入場は、商談会であることから1日目、2日目はバイヤーに限定し、3日目は一般消費者の入場も許可された。例年通り多くの来場者でにぎわい特に初日は会場全体が混雑した。また最終日に設定された顧客感謝日について、実際に来場した一般消費者の数は昨年と同様という事であったが、通常の業界関係者が昨年に比べ多く最終日まで参観を続けたこともあり、最終日に極端に人が減るとい現象はみられなかった。展示会事務局は事前に各出展企業に対し、最終日は展示会終了時刻まで展示活動を続けること、もし終了時刻以前に撤収を始めた出展企業を見つけた場合は罰金を科すこともありうる、という注意文書を配信したため、最後まで出展を続けた企業が殆どであった効果が出たものと思われる。

尚、展示会規則には前述のとおり写真撮影や出展企業の他社小間への立ち入りを含め厳しい内容が定められている。特に初日・二日目はビジネスショーの緊張した雰囲気が感じられた。

#### (1) 完成車の展示

完成車は、例年通りロードバイク、マウンテンバイク、クロスバイク、BMX、街乗り用のアーバンタイプ、クルーザー、電動自転車等あらゆるものが出展されていた。

電動自転車は、専用展示コーナーが設定されたが、このコーナーはそれほど大きいものではなく、電動自転車だけを展示する企業もそれほど多いとは言えなかった。

また、マウンテンバイク、BMX及びトライアスロン車にも専用展示コーナーがあり、それぞれの自転車及び関連ウェア、部品・付属品などがまとめて展示されており、各々専門の出展企業が集

められわかりやすくなっていた。

## (2) その他

部品の展示については、今年も各種部品メーカーが数多く出展していた。例年通り変速機、ブレーキ、ホイール、ペダル、ハンドルバー、サドルなどの部品からシューズ、ウェア、バッグなどの小物類まであらゆるものが展示されていた。著名な企業の小間は多くの来場者で大変にぎわっていた。この他、サイクルコンピューター、トレーニング機器などの展示もあった。また欧州の電動ユニットの製造企業も出展していたが、急激に出展企業数が増えたわけでもなく、これらの企業の小間の来場者数が極端に多いというようにも見受けられなかった。

各国共同出展についてであるが、日本の他、イタリア、台湾、中国が共同出展を行っていた。イタリア共同出展は、今年も例年通りパビリオン全体が赤と白の配色で上手くまとめられており、今年はお出展規模が大きくなり全体の面積も広がっていた。共同出展企業数は 38 社・76 小間であった(去年は 37 社)。また台湾パビリオンの共同出展企業数は 42 社・50 小間(去年は 35 社)、中国パビリオンの共同出展企業数は 67 社・74 小間(去年は 56 社)であった。

## 2. アウトドアデモ

展示会の開催前の 9 月 14、15 日にアウトドアデモと呼ばれる完成車メーカーによる新モデル試乗会が実施された。アウトドアデモの会場は従来と同じで、展示会場から約 30 分のボールダーシティ、ブートレグキャニオンである。この会場へは展示会場から出ているシャトルバスで移動することができる。今年はお強風と小雨の天候で、気温も当地としては高くなかった。この為、展示会事務局によると試乗するには悪くなかった、とのことであった。2 日間の来場者数は昨年並みであったと事務局から発表された。

## 3. 来年のインターバイク展について

展示会事務局から、来年のスケジュールについて早々に発表された。2016 年も本年と同じラスベガスのマンダレイベイ・コンベンションセンターで開催され、会期は 9 月 21 日～23 日の予定である。またアウトドアデモはこれに先立つ 9 月 19 日、20 日に開催されることになっている。この他来年は、東部のディーラー向けに 10 月 20 日から 23 日にかけて、ノースカロライナ州シャーロットでフォールサイクロフェストと呼ばれる催事が行われることも発表された。この催事にはアウトドアデモと各種セミナー及びレースなどが含まれるという事である。

## 4. 当協会の共同出展について

当協会は、本年は 12 小間を確保し共同出展を行った。当協会共同小間は、会場の中央の良いエリアに割り当てられ、特に今年はお赤絨毯の敷かれたメイン通路に面したところが割り当てられた。本年の共同出展企業数は 9 社である。共同小間全体で日本の出展をアピールするよう紅白の「JAPAN」のパネルを共同小間の前後左右に建てるなどしてブースの装飾を行い、共同出展各社の販売促進活動に繋げた。今回の共同出展企業は、株式会社ヨシガイ、株式会社インタージェット、株式会社加島サドル製作所、株式会社共成、株式会社三ヶ島製作所、株式会社日東、株式会社スギノエンジニアリング、サンスター技研株式会社、株式会社タンゲセイキである。

2015インターバイク・ラスベガス展当協会共同出展企業一覧

| 出展社名<br>(英文名)                      | 住 所  | 電話<br>F A X<br>ホームページ   | 主な出品物             |
|------------------------------------|--|---|-------------------|
| 株式会社ヨシガイ<br>DIA-COMPE JAPAN        | 〒571-0008<br>大阪府門真市東江端町 7-25                   | 072-884-8020<br>072-884-8030<br><a href="http://www.diacompe.co.jp">http://www.diacompe.co.jp</a>                     | ブレーキ、<br>ヘッドセット等  |
| 株式会社インタージェット<br>INTERJET           | 〒532-0004<br>大阪市淀川区西宮原 2-7-38<br>新大阪西浦ビル 100 号 | 06-6393-3611<br>06-6393-3822<br><a href="http://www.interjet.co.jp">http://www.interjet.co.jp</a>                     | フレーム              |
| 株式会社加島サドル製作所<br>KASHIMA SADDLE     | 〒580-0014<br>大阪府松原市岡 1-116                     | 072-333-3594<br>072-333-1973<br><a href="http://www.kashimax.co.jp">http://www.kashimax.co.jp</a>                     | サドル               |
| 株式会社共成<br>KYOSEI                   | 〒594-1157<br>大阪府和泉市あゆみ野 2-3-5                  | 0725-53-5670<br>0725-53-5671<br><a href="http://www.kyosei-ltd.com">http://www.kyosei-ltd.com</a>                     | 台上走行機             |
| 株式会社三ヶ島製作所<br>MKS                  | 〒359-1166<br>埼玉県所沢市糞谷 1738                     | 04-2948-1261<br>04-2948-1265<br><a href="http://www.mkspedal.com">http://www.mkspedal.com</a>                         | ペダル               |
| 株式会社日東<br>NITTO                    | 〒334-0013<br>埼玉県川口市南鳩ヶ谷 3-23-7                 | 048-286-7771<br>048-286-7770<br><a href="http://www.nitto-tokyo.sakura.ne.jp">http://www.nitto-tokyo.sakura.ne.jp</a> | ハンドル、<br>シートポスト等  |
| 株式会社スギノエンジニアリング<br>SUGINO          | 〒630-8144<br>奈良市東九条町 287-1                     | 0742-62-5311<br>0742-62-5320<br><a href="http://www.suginold.co.jp">http://www.suginold.co.jp</a>                     | クランク、チェ<br>ーンリング等 |
| サンスター技研株式会社<br>SUNSTAR ENGINEERING | 〒525-0044<br>滋賀県草津市岡本町字大谷<br>1000-16           | 077-562-6860<br>077-562-6874<br><a href="http://www.sunstar-engineering.com">http://www.sunstar-engineering.com</a>   | 電動アシスト<br>ユニット    |
| 株式会社タンゲセイキ<br>TANGE SEIKI          | 〒590-0940<br>堺市堺区車之町西 1-1-26                   | 072-224-9990<br>072-224-9991<br><a href="http://www.tangeseiki.com">http://www.tangeseiki.com</a>                     | ヘッドセット等           |



株式会社ヨシガイ



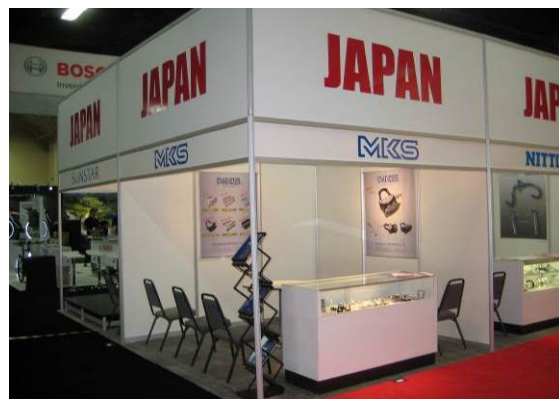
株式会社インタージェット



株式会社加島サドル製作所



株式会社共成



株式会社三ヶ島製作所



株式会社日東





株式会社スギノエンジニアリング



サンスター技研株式会社



株式会社タンゲセイキ

尚、当協会では 2016 年インターバイク展においても引き続き共同出展を実施する予定であり、当協会宛の共同出展申込を受け付ける事を計画している。共同出展にご関心の向きは遠慮なくお問い合わせいただきたい。

当協会本部事業部連絡先電話番号：03-6409-6921

当協会本部 HP <http://www.jbpi.or.jp/>

以 上